



# 大樹のこころ

## モルモットとのふれあい体験

学校で子供たちに命の大切さについて学んでいくことは、必要不可欠のことだと考えています。9月に行われた学校保健委員会では、ケアリングクラウン（病棟道化師）のボッチ☆アダムス先生による講演会を実施し、命について考える機会をもちました。こうした命の教育の一環として、1年生でとても良い取組がありましたので紹介します。

1年生では、東公園内にある岡崎市動物総合センターAnimoの方を招聘して出前授業を行いました。どんな内容かと言いますと、「モルモットとのふれあい体験」です。一昔前には、学校でうさぎやニワトリなどを飼育していましたが、現在はほとんどの学校で生き物の飼育は行っていません。ですから子供たちが動物とふれあう機会がなくなってきています。そこで「動物との交流を経験させたい」との1年生の先生方の願いから、Animoの方の出前授業をお願いすることになりました。

教室にモルモットがやってくると、1年生の子の目がきらきらと輝きます。授業の最初に、Animoの方から「口を触らない」「大きな声を出さない」「引っ張ったり振り回したりしない」などのモルモットとの接し方について説明があります。そしていよいよふれあい体験。まずはそっとモルモットを「触って」みます。それができたら「なでて」あげます。ここもクリアしたら、「おなかの下に」手を入れます。動物慣れをしていない子もいるので、嫌がったり怖がったりする子がいるかもしれないと思っていましたが、抵抗感なく活動していました。最後には抱っこをして、餌やりをしていきます。自分があげる餌をおいしそうに食べるモルモットを見て、子供たちはとても嬉しそうでした。こうした体験をする中で、動物に対する優しい心が芽生え、命の尊さを感じるきっかけとなっていたのではと思います。

出前授業が終わった後に、Animoの方が「大樹寺小の子は、良い子ばかりですね。モルモットにも優しいですし、グループ活動でも友達と仲良くすることができていました」と褒めてくださいました。動物だけでなく友達とのつき合い方も学べた体験活動となりました。



明日から中央総合公園でおかざきっ子展が開催されます。本校の子供たちの作品は野球場の前に展示されています。どの学年も力作ぞろい。今年は家康公にちなんだ作品が多く、150周年にふさわしく思います。理科技術家庭科作品展も行われています。ぜひご来場ください。